

大学院博士前期課程【冬季募集】国際社会コース選抜方法の変更について（予告）

2025年度入学者選抜以降の大学院博士前期課程【冬季募集】国際社会コースの選抜方法については、下記のとおり変更して実施する予定です。出願を予定している方は、十分に注意してください。また、詳細は学生募集要項（10月下旬公開）をよく読んで確認するようにしてください。

記

<変更点>

1. 筆答試験を無くし、第1次選考として書類選考を行う。
2. 第1次選考の合格者に対して、第2次選考として対面の口述試験を行う。
3. 英語能力や日本語能力を確認するため、出願書類の1つとして、英語又は日本語の外部試験成績表（出願以前2年以内に受験したもの）を提出する。

<提出する外部試験成績表について> ※2025年度入学者選抜の場合

- (1) 日本の大学を卒業した者及び卒業見込みの者は、2022年12月以降に受験した、以下の英語4技能の資格・検定試験である「ケンブリッジ英語検定」、「実用英語技能検定」、「GTEC」、「IELTS」、「TEAP」、「TEAP CBT」、「TOEFL iBT」、「TOEIC L&R/TOEIC S&W」のいずれかのスコアを提出すること。なお、このスコアについては、原本のコピーやWeb画面をプリントアウトしたものでの提出を認める。
- (2) 授業の標準使用言語が英語の大学（英語圏の大学など）を卒業した者及び卒業見込みの者は、2022年12月以降に受験した、日本語能力試験（JLPT）の成績証明書を提出すること。ただし、日本語を母語とする者が、授業の標準使用言語が英語である大学（英語圏の大学など）を卒業又は卒業見込みの場合は、2022年12月以降に受験した、(1)に記載があるいずれかの英語4技能の資格・検定試験スコアを提出すること。なお、これらの証明書については、原本のコピーやWeb画面をプリントアウトしたものでの提出を認める。
- (3) (1)と(2)以外の者は、2022年12月以降に受験した、日本語能力試験（JLPT）の成績証明書又は、2022年12月以降に受験した、以下の英語4技能の資格・検定試験である「ケンブリッジ英語検定」、「実用英語技能検定」、「GTEC」、「IELTS」、「TEAP」、「TEAP CBT」、「TOEFL iBT」、「TOEIC L&R/TOEIC S&W」のいずれかのスコアを提出すること。なお、これらの証明書については、原本のコピーやWeb画面をプリントアウトしたものでの提出を認める。